

特定給食施設栄養管理報告書（児童福祉施設・幼稚園等用）記入マニュアル

この報告は、健康増進法第21条、第22条、第24条第1項により求めるものです。この報告書は、公衆衛生向上のための統計資料に活用します。

I 報告書の取り扱いについて

1	実施年月日	2019年5月分より適用する。
2	報告義務者	健康増進法第20条第1項に規定する特定給食施設の管理者
3	提出先及び部数	寝屋川市保健所長あて毎回1部を提出する。
4	報告時期	毎年5月実績分を7月15日まで、11月実績分を翌年1月15日までに報告する。
5	報告様式	別紙「特定給食施設栄養管理報告書（児童福祉施設・幼稚園等用）」をコピーにより使用する。 （寝屋川市ホームページからダウンロードも可）

II 記入事項について

1	年 月 分	報告する該当年、月（5月・11月）を記入する。
2	施設名、所在地、 電話・FAX番号	施設の名称及び所在地、電話番号、FAX番号を記入する。
3	設置者（職・氏名）	施設の設置者の補職名（理事長等）、氏名を記入する。 ※押印は不要です。
4	給食責任者 （職・氏名）	施設給食部門の責任者の補職名、氏名を記入する。
5	作成者 （職・氏名）	報告書作成者の職種名（管理栄養士・栄養士等）又は補職名、氏名、連絡先を記入する。 ※問い合わせをさせていただく場合があります。
6	施設種別	該当する項目に○をする。児童福祉施設、幼稚園以外は「3.」に施設種別（認定こども園等）を記入する。
7	給食従事者数	管理栄養士、栄養士、調理師は、有資格（登録）者とする。なお、管理栄養士である者は栄養士に含めない。また、栄養士、調理師の資格を併せ持つ場合は、業務内容から判断しいずれか主なもの1つについて記入する。 上記について従事者数を施設、委託業者別に、また常勤（労働時間週32時間以上等）、常勤以外別に記入する。
8	委託業者（名称・ 代表者・所在地・ 電話番号）	給食業務を委託している場合は、委託業者の名称及び代表者、所在地、電話番号を記入する。ケータリングの場合は、その具体的な内容を記入する。（弁当は除く）
9	給食管理等につい て検討する会議	該当する項目に○をする。「1.有」の場合は、1年間における実施回数を記入する。構成職種は、施設・委託業者別に該当する職種に○をする。
10	食数	朝食・昼食・夕食・間食・その他（夜食など）の1日当たりの平均食数を園児・職員別に整数値で記入する。（月間の総食数を給食日数で除した値）
11	食材料費	1人当たりの食材料費（消費税含む）を食事毎に記入する。ただし、2食以上を提供し食事毎に食材料費を算出していない場合は、合計欄に1日分の食材料費を記入する。給食利用者によって食材料費が異なる場合は、主たる給食利用者の食材料費を記入する。

12 給食利用者の把握

該当する項目に○をする。(把握しているとは、定期的に身体状況を把握している場合等である。)
「1.有」の場合は、把握した年・月を記入する。

(1) 身体の状況

① 3歳以上の肥満とやせの割合

以下に示す評価方法等で肥満・やせを判定し、その人数を給食利用者数で除した百分率で記入する。(3歳以上)

※ 幼児(3歳以上6歳未満)の肥満・やせの評価方法

幼児身長体重曲線(性別・身長別標準体重)を用いる。

$$\text{肥満度} = [\text{実測体重(kg)} - \text{身長別標準体重(kg)}] \div \text{身長別標準体重(kg)} \times 100$$

肥満・・・肥満度+15%以上 やせ・・・肥満度-15%以下

身長別標準体重は、平成12年乳幼児身体発育調査の結果に基づき、次式により算出する *身長はcmで計算する

$$\text{男児 標準体重} = 0.00206 \times \text{身長}^2 - 0.1166 \times \text{身長} + 6.5273$$

$$\text{女児 標準体重} = 0.00249 \times \text{身長}^2 - 0.1858 \times \text{身長} + 9.0360$$

(既に平成22年乳幼児身体発育調査の結果やその他の方法により算出している場合はそれでも差し支えない)

☆ 3歳以上の幼児を対象とした身長別標準体重の早見表及び肥満度判定区分ができる簡易ソフトは以下のとおり。

* 3歳以上の幼児の肥満度判定区分簡易ソフト(エクセルファイル)

掲載場所 ○国立保健医療科学院

<http://www.niph.go.jp/soshiki/07shougai/hatsuiku/>

* 簡易ソフトの使い方

「名前、生年月日、測定日、身長(cm)、体重(kg)を入力いただければ、3歳以上の幼児の肥満度判定区分を簡単に確認することができます。*名前については任意の入力項目

身長別標準体重の早見表(3歳以上6歳未満の幼児)
平成12年乳幼児身体発育調査の結果に基づく

身長(cm)	男子			女子		
	標準体重(kg)	やせ※1	肥満※2	標準体重(kg)	やせ※1	肥満※2
70	8.5	7.2	9.7	8.2	7.0	9.5
71	8.6	7.3	9.9	8.4	7.1	9.7
72	8.8	7.5	10.1	8.6	7.3	9.9
73	9.0	7.6	10.3	8.7	7.4	10.1
74	9.2	7.8	10.6	8.9	7.6	10.3
75	9.4	8.0	10.8	9.1	7.7	10.5
76	9.6	8.1	11.0	9.3	7.9	10.7
77	9.8	8.3	11.2	9.5	8.1	10.9
78	10.0	8.5	11.5	9.7	8.2	11.1
79	10.2	8.6	11.7	9.9	8.4	11.4
80	10.4	8.8	11.9	10.1	8.6	11.6
81	10.6	9.0	12.2	10.3	8.8	11.9
82	10.8	9.2	12.4	10.5	9.0	12.1
83	11.0	9.4	12.7	10.8	9.2	12.4
84	11.3	9.6	13.0	11.0	9.3	12.6
85	11.5	9.8	13.2	11.2	9.5	12.9
86	11.7	10.0	13.5	11.5	9.8	13.2
87	12.0	10.2	13.8	11.7	10.0	13.5
88	12.2	10.4	14.1	12.0	10.2	13.8
89	12.5	10.6	14.3	12.2	10.4	14.1
90	12.7	10.8	14.6	12.5	10.6	14.4
91	13.0	11.0	14.9	12.7	10.8	14.7
92	13.2	11.3	15.2	13.0	11.1	15.0
93	13.5	11.5	15.5	13.3	11.3	15.3
94	13.8	11.7	15.8	13.6	11.5	15.6
95	14.0	11.9	16.1	13.9	11.8	15.9
96	14.3	12.2	16.5	14.1	12.0	16.3
97	14.6	12.4	16.8	14.4	12.3	16.6

98	14.9	12.7	17.1	14.7	12.5	17.0
99	15.2	12.9	17.5	15.0	12.8	17.3
100	15.5	13.1	17.8	15.4	13.1	17.7
101	15.8	13.4	18.1	15.7	13.3	18.0
102	16.1	13.7	18.5	16.0	13.6	18.4
103	16.4	13.9	18.8	16.3	13.9	18.8
104	16.7	14.2	19.2	16.6	14.1	19.1
105	17.0	14.4	19.5	17.0	14.4	19.5
106	17.3	14.7	19.9	17.3	14.7	19.9
107	17.6	15.0	20.3	17.7	15.0	20.3
108	18.0	15.3	20.7	18.0	15.3	20.7
109	18.3	15.5	21.0	18.4	15.6	21.1
110	18.6	15.8	21.4	18.7	15.9	21.5
111	19.0	16.1	21.8	19.1	16.2	22.0
112	19.3	16.4	22.2	19.5	16.5	22.4
113	19.7	16.7	22.6	19.8	16.9	22.8
114	20.0	17.0	23.0	20.2	17.2	23.2
115	20.4	17.3	23.4	20.6	17.5	23.7
116	20.7	17.6	23.8	21.0	17.8	24.1
117	21.1	17.9	24.2	21.4	18.2	24.6
118	21.5	18.2	24.7	21.8	18.5	25.0
119	21.8	18.6	25.1	22.2	18.9	25.5

※1 やせ: やせすぎ, 又はやせ。(表中の各身長における数値以下が該当。)

※2 肥満: ふとりぎみ, ややふとりすぎ, 又はふとりすぎ。(表中の各身長における数値以上が該当。)

※児童・生徒の肥満・やせの評価方法

学校保健統計調査方式(性別・年齢別・身長別標準体重)による肥満度判定方法を用いる。

$$\text{肥満度(過体重度)} = \frac{[\text{実測体重(kg)} - \text{身長別標準体重(kg)}]}{\text{身長別標準体重(kg)}} \times 100$$

肥満・・・肥満度+20%以上 やせ・・・肥満度-20%以下

$$\text{身長別標準体重(kg)} = a \times \text{実測身長(cm)} - b$$

年齢	係数	男		女	
		a	b	a	b
5		0.386	23.699	0.377	22.750
6		0.461	32.382	0.458	32.079
7		0.513	38.878	0.508	38.367
8		0.592	48.804	0.561	45.006
9		0.687	61.390	0.652	56.992
10		0.752	70.461	0.730	68.091
11		0.782	75.106	0.803	78.846
12		0.783	75.642	0.796	76.934
13		0.815	81.348	0.655	54.234
14		0.832	83.695	0.594	43.264
15		0.766	70.989	0.560	37.002
16		0.656	51.822	0.578	39.057
17		0.672	53.642	0.598	42.339

出典:財団法人日本学校保健会『児童生徒の健康診断マニュアル(改訂版)』平成18年

※18~49歳の肥満・やせの評価方法

$$\text{BMI} = \text{体重(kg)} / \text{身長(m)}^2$$

参考:18~49歳の目標とするBMIの範囲は18.5~24.9kg/m²

②評価方法

幼児(3歳以上6歳未満)の肥満・やせの評価方法に用いた項目に○をする。「3. その他」の場合は、その方法を()に記入する。

③アレルギー

		<p>該当する項目に○をする。「1.有」の場合は、該当する項目に○をする。それ以外の対応を行ってれば、具体的な内容を記入する。</p> <p>(2) 年齢区分・性別人数 給食利用者の年齢区分を記入し、性別ごとに人数を記入する。(区分が多い場合は、線を引き区分を増やして記入をする。)</p>
13	栄養成分表示	該当する項目に○をする。なお、ビタミン・ミネラル等は「6.」に具体的な内容(例:ビタミンA・カルシウム)を記入する。
14	栄養情報の提供	該当する項目に○をする。なお、ホームページ等の場合は、「4.」に記入する。
15	食育の取り組み	実施している食育の取り組みを具体的に記入する。(例:野菜の摂取が少ないので、「野菜に含まれる栄養」についての紙芝居を実施した。)
16	栄養管理の評価	栄養管理について現状を分析し、今後の課題や取り組むべき事項等について報告月毎に検討を行い、その内容を記入する。(例:野菜の摂取量は多くなってきているが、まだ、目標には達していない。更に栄養情報の提供に努め、野菜摂取の適正化をめざす。)
17	献立の提示	該当する項目に○をする。なお、フードモデルを展示している場合は、「実物」に○をする。
18	手作りおやつ	週又は月当たりの頻度(回数)と主な献立名(例:蒸しパン、ゼリー)を記入する。
19	非常時危機管理対策	食中毒発生時及び災害時等のマニュアルの整備、食品の備蓄について、該当する項目に○をする。 ※食品の備蓄は、施設内で保管している場合のみ「有」とする。
20	食事摂取基準	<p>※ 3歳以上児に主食を提供している場合は、有に○をする。</p> <p>最も提供数の多い食事の種類〔参照:P4「②食事の種類集約・設定」〕の給食利用者を記入し、該当する項目に○をする。(昼食と間食を提供している場合は、昼食と間食に○をする。)</p> <p>(1) 給与栄養目標量及び給与栄養量 記入における単位・小数点以下の桁数の取り扱いについては、日本食品標準成分表2015又は五訂増補日本食品標準成分表に準ずる。 食塩相当量は、下記の計算式で算出する。 食塩相当量(g) = ナトリウム(mg) × 2.54 ÷ 1000</p> <p>(2) 食品群別給与量 整数値で記入する。記載のない分類については空欄に記入する。</p> <p>(3) エネルギー産生栄養素バランス 各栄養素の総エネルギーに占める割合は、整数値で記入する。 算出法は、次のとおりとする。</p> <p>① たんぱく質バランス(%エネルギー) = たんぱく質(g) × 4 / 総エネルギー(kcal) × 100</p> <p>② 脂質バランス(%エネルギー) = 脂質(g) × 9 / 総エネルギー(kcal) × 100</p> <p>③ 炭水化物バランス(%エネルギー) = 100 - (① + ②)</p>

※栄養価計算は、日本食品標準成分表2015又は五訂増補日本食品標準成分表を使用する。